

討論メモ

「新政権に何を望むか」

令和7年9月16日

森田晃司

1. 当月は、激変する世界情勢の中で混迷を続ける日本の政局をにらみつつ、

①。自民党総裁選の行方並びに予想される新政権の枠組み

② 新政権の取り組むべき優先課題は何か。

について考えてみました。

2. 続いて出席者6名による自由討論に移り、下記のような意見が出されました。

- ・総裁選の行方は能力よりも人気が左右する。総裁は選挙の顔だからだ。
- ・経済関連ばかりが争点になっているようで寂しい。
- ・自民党総裁が必ずしも首相になれるわけではなく、野党との連携が問われる。

ある意味では、国会のあるべき姿に近づいているともいえる。

- ・自民党の総裁選に立候補するには、国会議員20人以上の推薦人が必要などの要件があり、資格制度自体が陳腐化しているとの批判もある。

- ・国の安全保障はすべての基本で、別格の優先課題だ。
- ・しかし、何をするにも国力がもとで、経済基盤が大事だ。

- ・ 40年も経済の停滞が続いている、賃金を上げられる環境を政府は作る、つまり積極財政が必要だ。
- ・ 新政権は、長期、中期、短期それぞれの目標を明確に設定して取り組んでほしい。
- ・ 憲法改正も中途半端なままだ。
- ・ 米露の関係が深まる中で、日本の外交も重要性を増してきている。
- ・ 日本の伝統や特質が失われていく中で、日本人の心を取り戻す教育が大事だ。
- ・ 生徒たちは特に国語と国史が弱い。
- ・ 国史を教えないのが戦後の日本の教育だ。
- ・ 英語は言語であるばかりでなく、文化でもある点に注意と警戒が必要だ。
- ・ 日本語はなくてもよい、グローバル化することが大事だ。
- ・ ・モノのグローバル化が進むが、精神のグローバル化も進めるべきだ。
- ・ 米国と比較すると、日本は生徒に対する先生の数が圧倒的に少ない。
- ・ 尖閣は中国船に取り巻かれているのが日常化しても、日本国民は怒りもしなくなっている。
- ・ 分断が問題だ。
- ・ 一神教はどうしても排他的になる。

- ・金がすべてという世の中にしたのが元凶だ。
- ・二百年余り世の中を支配してきた資本主義は見直されるべきだ。
- ・金より大事なものがるといふ生き方を教える哲学、宗教の復権が必要だ。
- ・猛暑日が続くが、地球温暖化と決めつけるのはいかなものか、寒冷化している地域もある。
- ・世界の軍備費は近年急増している。
- ・核兵器も増え続けているが、処理するのも大変だ。
- ・ロシア民族は歴史的に強敵に抗ってきた、ナポレオン、ナチスドイツ・・・
- ・この十年以内に世界に大変革が起こりそうだ。

以上